



2022年播磨高原東中学校 生徒会スローガン

くっ ひも
靴 紐 ～何度でも～



今年度の生徒会スローガンは「靴紐～何度でも～」です。この目標には行事の成功や目標に向け固い決意と想いを持ち、より良い学校生活を送るという思いが込められています。また、歩きはじめるとき、私達は靴紐がほどけないように結び直します。そのように、何度ほどけても結び直すことから、何度失敗しても諦めずに挑戦し続けるという意味もあります。常に前を向き続ける事ができる生徒を目指すという思いも込められています。

体育祭

体育祭スローガン

「高原の一味」



意味:「ワンピース」のアニメのように信頼しあえる仲間とともに助け合い、最高の体育祭にする

「高原の一味」のスローガンのもと全員が自分の役割を理解し、協力して思い出に残る体育祭になりました。全員の士気が高まり、より仲が深まったと思います。

ソーラン節

最初は動きが揃わず、動きのタイミング、声を大きくすることなど、課題はたくさんありました。しかし、実行委員を中心に、踊りのタイミングや順番がわからない人に一対一で教えました。実行委員も試行錯誤しながら練習を重ねました。本番前日は全校生徒の士気を高めるため、円陣を組みました。

迎えた本番は、全員が一体となり力強い演技をすることができました。体育祭に向けて実行委員だけでなく、全校生徒が協力することができ思い出に残るソーランを踊ることができました。

学習発表会

学習発表会スローガン

「残響 ～1人1人が輝く色～」

意味:全校生が一体となり歌声を響かせ、一人一人が輝く発表会にする

全校合唱の練習では最初は声あまり出ず、生徒全員が心を合わせ、気持ちのこもった合唱をするにはどうしたらよいか自分たちで考え練習し、発表会当日には保護者の前で素晴らしい合唱を披露することができました。また、1人1人が主体的にテーマを設定しインターネットや文献から調べ、制作した光都論文から各学年代表者がスライドを利用して発表しました。それぞれが自分の仮説について考察し、結論を求めました。自分の考えを持ち、検証すること、また他人に伝えることについて学ぶことができました。



特別授業 ～3年生、核エネルギーについて学ぶ～

10月17日の5・6時間目に3年生対象の出前授業がありました。量子科学技術研究開発機構から研究員の方が4人、兵庫県立大学から2人来校していただき、「核エネルギーと放射線」について教えていただきました。身近に存在しているけど意識することがない放射線を「霧箱法」で観察しました。先生方の分かりやすい説明もあり、どの生徒も夢中になって観察しました。